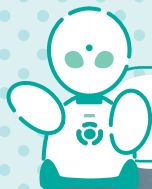


東京都



分身ロボットを活用した

新たな働き方の 支援事業



OriHimeパイロット
ごーちゃん。

山口県からOriHimeを操作しています
韓国ドラマをみて
胸キュン・号泣することが趣味です
最近ほボイ活に力を入れています

声が大きい or 小さい

東京都在住の重度障害等がある方が、
自宅や施設から遠隔操作でご案内のお仕事をしています

(公財)東京しごと財団でのご案内業務実践概要

場 所 東京しごとセンター1Fロビー【東京都千代田区飯田橋3丁目10-3】

期 間 令和8年10月1日(木)～令和9年3月12日(金) 13時～17時まで(土日祝日・年末年始を除く)



リモートで働く



その人らしく働く



遠隔就労で障害者雇用

東京都 分身ロボットを活用した新たな働き方の支援事業とは？

東京都では、障害の有無にかかわらず、一人ひとりが自分らしく働ける社会の実現を目指しています。

この事業では、分身ロボット「OriHime」を活用して、外出困難な重度障害等のある方に働く機会を作り出すとともに、来場者とのコミュニケーションを通じて障害者雇用への理解を深めることを目的としています。

公益財団法人東京しごと財団やイベント会場でこの取り組みや新しい働き方について発信しています。



分身ロボット「OriHime」

分身ロボットOriHimeとは？

この場に参加できない、遠く離れた仲間に簡単に“来てもらう”事ができる分身ロボット、それが「OriHime」です。「職場に置いて、家や遠い場所にいる社員に参加してもらえる」など、まるで本当にそこにその人がいるような経験を体験できます。

【自宅】

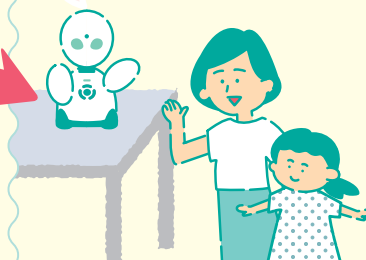
はじめまして、〇〇です。
東京の自宅から
操作しています。



▲ OriHime 操作者

【東京しごと財団】

ご案内いたします。
おすすめは〇〇です。



▲ 分身ロボットOriHime

遠隔操作

私たちに合ったそれぞれの働き方を。

外出困難でもそれぞれに合った働き方を、分身ロボットで支援します。

✓ 簡単操作



お使いのPCやスマートフォンなどから、だれでも簡単に操作する事ができます。
練習は必要なく、子どもからご高齢の方まで、多くの人に使いやすいように設計されています。

✓ 豊かな感情表現



分身ロボットを操作する人は、首や腕を自由に動かして周囲の人と話し、一緒に外出したり働いたりするうちに、遠隔操作なのに本当にそこにいるような感覚、経験を得る事ができます。

✓ そこに居る感覚



様々な表情に感じられる能面のモチーフのため、操作者の顔は見ていないのに、会話をしていると本当に分身ロボットを通してその人が“居る”ように感じることができます。

当事業について

TOKYOはたらくネット

<https://www.hataraku.metro.tokyo.lg.jp/shogai/event/orihime/index.html>

問い合わせ

「分身ロボットを活用した新たな働き方の支援事業」事務局
tokyo.recruit@orylab.com



東京都

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。
登録番号(8)107